



新年明けましておめでとうございます

後援会の皆様におかれましては、穏やかな新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

バブル経済の崩壊後、景気回復の兆しがようやく見え始めているとは云え、依然として本格回復には程遠く、相変わらず厳しい状況を呈しております。

昨年を振り返れば、解決半ばの北朝鮮拉致問題、イラクの情勢不安、過去最多の台風被害、突然の新潟県中越地震、そしてまた過去には例を見ない狂気的な犯罪等々憂いをおびた出来事が多発しました。ただ、アテネオリンピックでは、多くの選手が輝かしい栄冠を勝ち取ったことは、『チヨー気持ちいい』明るいニュースとして、私たちの記憶の中に鮮明に残っています。

时限立法である合併特例法が今年3月をリミットとしている中、地元、鹿島郡内でも神栖町と波崎町及び鉾田町と大洋村・旭村の合併協議会がそれぞれ発足し、新しい市の誕生に向け協議が為されております。

私が茨城県議会議員として初当選以来、政治課題の一つとして15年近くに亘り、一貫して掲げて来た合併問題であるだけに感無量であります。

やはり政治家は将来を見据えた施策の実現に向け、常に活動する事が重要であると再認識し、感慨を新たにしております。今後更に合併の早期実現、また合併後の新市と県との架け橋としての役割を果たすべく、精一杯の努力を傾注していく所存であります。

「鹿島の発展が、茨城の発展につながる」との信念を持続け、真の豊かさを創り上げていく為に、地場産業の振興、社会資本の整備、少子・高齢化対策、保健医療と福祉の充実、教育・芸術・文化のバランスの取れた、県都に並ぶ中核都市づくりを目指し、この一年も全力で取り組んで参りたいと思います。皆様方の更なるご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

茨城県議会議員

後援会 会報・No.14

西条昌良

2005

News

平成16年第3回定例会農林水産委員会で質問（抜粋）



どのくらいですか。

漁政課長 水産物の自給率は平成14年で53%という統計があります。ピークは昭和39年の113%でした。

西条県議 水産業の過去の推移状況をみると、自給率、水揚げ、金額いずれも減少しています。今後、漁業をどう振興していくのかといふことです。

西条県議 水産業資源をどう回復していくのが、もう一つは今、漁業本体も含め漁業関連産業は倒産が非常に多く、廃業や倒産をどう防止するのか、その方策が問われています。

西条県議 全国の中でも、本県はどのくらいに位置しているのか。

漁政課長 本県の基幹漁業であるまき網漁業、サンマを中心とする棒受け網など、これらの魚種につきましては、人為的なものというよりは、大きな海洋変動という形の中での漁獲が大きく変動するというふうに思っておりますので、単純に乱獲というところでは説明できない事だと思っております。また、底に住んでいる魚につきましては一度とり尽くしてしまっては、一度とり尽くしてしまったと記憶していますが、平成14年は水揚げで5位、金額で23位です。内水面は統計がそろつていませんが、いつも全国有数と思っています。

西条県議 説明を聞くと、本県は、全国でも漁業の占める割合は非常に高い、あるいは極めて重要な役割を担っていると思います。農産物の場合は、よく自給率が議論になりますが、水産物の自給率は

水産業の振興方策をはじめ、地元の抱える県政課題を一時間近くにわたって取り上げ、地元の声の代弁に努めました。

■水産業の振興

西条県議 農林水産業は極めて厳しい環境の中になりますが、漁業は従事者、関係者が少ないだけに、切実な声が県や国に特に届きにくいようです。そのため、ます本県の漁業がどういう状況にあるのか、改めて確認したいと思います。

漁政課長 本県の海面漁業の大好きな動きを説明しますと、生産量は昭和61年に112万トンを記録しましたが、一番新しい統計、平成14年で112千トンです。現在万5千トンです。

から18万トンまで減少したということです。内水面漁業は、大きくなれば霞ヶ浦ですが、昭和53年に1万7千トンだったのが、現在は約1千7百トンと10分の1に落ち込んでいます。

漁政課長 海面は、昭和61年の112万トンの時は全国2位でしたが、これは霞ヶ浦、涸沼をはじめとする内水面の二つの形がありますが、どちらのくらいの水揚げがありますが、どのくらいの水揚げが減つて、あるいはどのくらいの金額が減つて、どれだけ厳しいのか、推移を伺います。

西条県議 説明を聞くと、本県は、全国でも漁業の占める割合は非常に高い、あるいは極めて重要な役割を担っていると思います。農産物の場合は、よく自給率が議論になりますが、水産物の自給率は

についても、これからは資源を大切にしながら管理し、持続的な生産を確保していくこと

が大切だと思っておりますし、その一方で経営対策というのも必要じゃないかというふうに思っています。

西条県議 もう一つ、廃業な

り倒産を防止する対策です。漁業者の倒産などを防ぐための制度、仕組みを拡充したり、新たなものもあるいは今後考

えている構想があれば伺います。

漁政課長 まき網で説明しましたが、大中型まき網漁業は大臣許可漁業ですので、國に減船の制度があります。

それから、県知事が許可する底びき船があります。板びき網漁業という15トンの底びき船がありますが、これについても、減船の制度、国の制度があります。しかし、そのほかは残念ながら、今のところあります。

西条県議 鹿嶋市にある

県栽培漁業センターではヒラメの稚魚や鹿島灘ハマグリの稚貝などを放流していますが、どのような効果が表れていますか。

水産振興課長 栽培漁業の魚介類の種苗生産、放流を行っています。そのうち、効果が一番大きく表れているのはヒラメで、約85万尾ほど放流していますが、平成8年度以降、

放流ヒラメの割合がだんだん向上しております。近年では大体10%を占めています。

自類については、アワビを毎年約25万個ほど大洗以北の漁協に販売しており、いわゆる採捕漁業で非常に大きな割合を占めています。多いところでは8割以上を占めるぐらいた放流アワビの効果が表れています。

西条県議 最後に、農林水産部長に本県の漁業をどう思っているのか、今後具体的にどう対応していくつもりなのか、決意のほどを伺います。

農林水産部長 茨城県の漁業は大変重要な産業だといふことで、農林水産と一体的に考えていく必要があると考えています。特に、漁民の声がなかなか届きにくいのではないかという話がありました。そのようなことがないよう、漁業関係者の声を積極的に聞き、漁業振興に努めていきたい。

TACを守る、資源管理を行って、そして栽培漁業を的確に進めるといったことを通じて、茨城県の漁業をさらに発展させていきたい。

西条県議 常陸利根川の魚介類の種苗生産、放流を行っています。そのうち、効果について昨年の質問に對し、知事は積極的に働きかけていきましたと答弁しています。その

■逆水門への魚道設置

西条県議 常陸利根川の魚介類の種苗生産、放流を行っています。そのうち、効果が一番大きく表れているのはヒラメで、約85万尾ほど放流していますが、平成8年度以降、

後、今年度も魚道整備を国に
する要望に盛り込んだり、
さらに昨年12月にも、国土交
通省の河川部長に企画部長が
要望をしていますが、具体的
にならざるんですか。

漁政課長 現在、そういう
検討を進めているということ
しか聞いていません。具体的
には国土交通省で進めていま
すが、まだ形にはなっていま
せん。

西条県議

そこで、6月18日
の新聞報道によると、NPO
法人が「汽水域拡大で漁業
利潤308億円増加」と言つてい
るよう、効果があるのかどう
か、そういう検討はしてい
ますか。

漁政課長 県では、そういう
う検討はしていません。ただ、
新聞記事の提案というか、シ
ミュレーションについては、担
当を会議に参加させています
が、ベースとなる単価とか数
量が相当過大評価ではないか
という評価をしています。

西条県議

報道をみると、逆水門を柔軟運用して汽水域
を広げたり魚道を設けたりす
ることで、それだけの経済効
果があるということですが、
金額は別にして、どうですか。
漁政課長 魚道は、霞ヶ浦、
北浦の漁業者が早期の設置を
要望しています。その背景に
は、私どもでウナギ等の種苗
の放流をしていることがあります。
ウナギはまだ10トン台

の漁獲ですが、天然ウナギは
単価が高く、キロ25000円
から30000円くらいします
ので、魚道の設置により、ウナ
ギが遡上したり、高いスキル等
も入り込んでくることを、当
面は期待しているようです。
西条県議 努力をしてい
ることは承知していますが、
前向きな結果が期待できると
いう可能性があるならば、ぜひ
積極的に検討されたらいか
がと思います。要望しておき
ます。

■臭化メチルの確保

西条県議 土壌消毒など
に使われている臭化メチルは、
オゾン層を破壊する物質とさ
れ、2005年に原則、製造中
止になるということです。し
かし、不可欠用途中申請分につ
いて、日本は2005年分と
して、284トンを確保したと報
告を受けているが、本県と
してはどのくらいの使用が認
められたのですか。

農産課長

36トンです。

西条県議

その36トンは

県内必要量の何割くらいに當
たりますか。

農産課長

36トンは平成

農産課長

14年度の第1次申請分で、そ
れに間に合わなかつた分とし
て、昨年度に49トンを追加申
請しています。

農産課長

この申請は、必
要量を全部下から積み上げて
きていますので、申請分の85

トンが必要量と考えています。
西条県議 そうすると、大
筋で足りるということですか。

農産課長 第2次申請分
は、11月の締結国会合で検討
されますので、これが認めら
れれば、農家が必要としている
ことは承知しています。日本が申請
していった2005年分の不可
欠用申請分は、同国会合です
べて認められました。

西条県議

こうした例外

使用は毎年申請していけば、
ずっと認められるのか。翌年か
らは現状維持ではなく、だんだん
減らされると思いますが、
その見通しを含め伺います。

農産課長

申請は毎年で、
議定書締結国会合で承認され
なければ、認められないこと

になります。オゾン層保護法
が議定書を受けて成立してい
る中では、今後いつまで認め
られるか、私見ですが、予断は
許さないと思います。

西条県議

いずれにしても、
特例的に認められているわけ
ですから、代替技術の検討な
り、研究開発を進めていると
思います。が、その状況はどう
ですか。

農産課長

ピーマンでは、
いわゆる土壤汚染ワイルスの
研究などを進めています。た
だ、臭化メチルに代わる効果
的な防除法は、現在のところ、
確立されているとは言えない

と考えていますが、鹿島地帶
特産指導所で鋭意努めています。
西条県議 いずれにしても、
代替技術や資材の研究とか、
従つて、国に対して補助要
件の緩和をまず要望するとい
うことを、いろいろな場で水産
が、それをさらに今一步進め、
農家が安心して生産に取り組
める環境をしっかりと構築して
いただきたいと、重ねて要望
したいと思います。

西条県議 海岸に漂着す
るゴミの処理費用問題につ
いて、ゴミが定量以下の場
合市町村が負担し1000
立方メートル以上の場合、2
分の1を補助する国の補助制
度があるだけです。量や特定
のものに限定せず、制度が彈
力的に運用できるよう、そ
ういう働きかけというか、努
力はできないでしょうか。

西条県議

それから、具体的な案件の
処理については、現在地元団
体等の清掃活動も含め、関係
各課で協議をしているところ
で、これがまとまり次第市町
村なり国等と協議をしてい
たいと考えています。

す。

西条県議 ぜひ、今一步前
に出た対応が迅速にできるよ
う努力をしていただきたい。

水産振興課長 この制度
は補助対象が大きすぎるとい
ふことで、現実には本県で適用
を受けたことはありません。

そこで、実際に本県で適用
されることは、ある程度対応できる
と考えています。(日本が申請
していった2005年分の不可
欠用申請分は、同国会合です
べて認められました)。後は時期をとらえて、関係各
府や国土交通省の整備局に個
別に要望してきましたが、今
後は時期をとらえて、関係各
府で一緒に関係省庁に要望し
ていきたいということが一つで

フラッシュ2004

写真で見る 議員活動



▲第56回 全国植樹祭 ブレ植樹祭
いばらきの森(もり)づくり県民フェスティバル
潮来市「かすみの郷公園」



▲自民党 武部幹事長と懇談



▲錦織県議・JC理事長・次期理事長と対談



▲農林水産委員会(東京)



▲農林水産委員会 県内調査(県北)



▲農林水産委員会 県内調査(県南・県西)



▲農林水産委員会 県内調査(鹿行)



▲農林水産委員会
県内調査(神栖町 ヒ素調査)

●発行 平成17年1月11日
西条昌良後援会

●事務所 波崎町8440-5
●電話 0479(44)5044

ホームページアドレス

<http://www.sopia.or.jp/saijo/>

茨城県議会ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

定例議会

2/25~3/22 第1回定例議会
6/1~6/11 第2回定例議会
9/ 2~9/27 第3回定例議会
12/1~12/16 第4回定例議会

常任委員会

1/28~1/30 予算特別委員会県外視察
4/23 農林水産委員会
5/13 保健福祉委員会県内調査(鹿行)
5/26 農林水産委員会
6/16~6/17 農林水産委員会県内外調査
7/14~7/16 農林水産委員会県外調査
7/26 農林水産委員会(岩間町・八郷町)
8/26 農林水産委員会(つくば市・境町)
9/22 農林水産委員会(神栖町)
10/6 農林水産委員会(大宮町)
10/7 文教治安委員会県内調査(鹿嶋市)
10/14 環境商工委員会(神栖町)
10/15 土木委員会県内調査(鉢田町)
10/15 農林水産委員会

自民党

2/21 茨城県連定期大会
3/25 茨城県第2選挙区支部
議員会
6/5 波崎中央支部定期総会
6/5 神栖中央支部定期総会
6/20 茨城県第2選挙区支部
定期大会
7/2 茨城県第2選挙区支部
議員会

鹿島地域関連

2/13 鹿行南部地域保健福祉協議会
2/21 鹿行地区交通安全推進大会
2/26 鹿行港消防署令賀式典
鹿行地域合併検討協議会
2/27 波崎町合併推進懇話会
5/15 波崎ウインドファーム安全祈願祭及び竣工披露
6/28 波崎町合併推進懇話会
7/9 鹿島灘海岸環境整備事業
推進協議会総会
7/16 神栖町・波崎町合併検討協
議会
7/26 神栖町・波崎町合併検討協
議会
8/9 鹿島臨海工業地帯開発協
議会
8/31 神栖町・波崎町合併協議会
9/30 神栖町・波崎町合併協議会
10/17 鹿嶋地区安全安心まちづく
りパレード
10/20 波崎町合併推進懇話会
11/2 神栖町・波崎町合併協議会
11/8~11/10 鹿島臨海工業地帯開発協
議会平成16年度事例調査
11/15 波崎町合併推進懇話会